

## 2 沼津特別支援学校愛鷹分校 実施報告書

---

- 1 実施日時 ①令和7年9月11日(木)午前9時00分から12時30分まで  
②令和8年1月22日(木)午後3時15分から4時30分まで

- 2 実施場所 ①餃子の一番亭 沼津東名インター店(沼津市岡宮1246-19)  
②沼津城北高校 城北館(沼津市岡一色875)

### 3 実施内容

(1) タイトル 「世界にひとつだけのカップラーメンを作ろう！」

#### (2) 内 容

職場実習で体験したらラーメン作りの奥深さに感動した。現在、高等部3年生なので、愛鷹分校全体でラーメン作りを行い、思い出作りも行いたい。色々考えている中で、ラーメン作りだけでなく、カップラーメンを作ることができれば、たくさんの人に食べてもらうことができるのではないかと考えた。特に、沼津城北高校の生徒のみなさんと行事以外でも思い出作りができたらうれしいと思い、計画を考えた。

### 4 プロジェクトの概要

#### 【テーマ設定、イベント実施までのプロセス】

##### 概要1

##### 講師の依頼、道具のレンタルについて

職場実習で行ったラーメン作りを行う。学校の調理室で、調理器具などを借りて行おうと考えた。また、折角なので、ラーメン作りの基礎基本を習いたいと思い、中華の専門学校の先生に講師の依頼を考えた。まず、専門学校に講師をお願いできるかメールで確認したが、検討の結果断られることが3校続いた。理由は専門学校の先生なので他の生徒には難しいという理由だった。また、調理器具のレンタルは、数十件の業者に見積もり依頼をした。想像以上に値段が高かったり、値段が手頃でも配送料が高かったりと、希望する業者が見つからなかった。

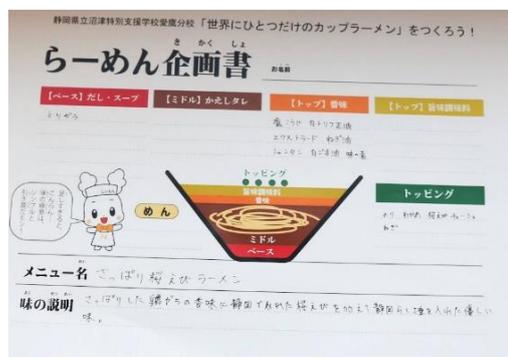
##### 概要2

講師が断られ、業者が見つからず、困っていた時に学校の先生の知り合いに、カップラーメンの大手メーカーに勤めている方がいた。メールで今回の内容を伝え、社内で検討してくれることになった。とても有名な会社で、メールでのやりとりのときも、相手に箇条書で要点を伝える大切さを知った。結果として断られてしまったけれど、自分がいつも食べているカップラーメンの会社の方とやりとりできたことは、いい思い出になった。

どこも対応してくれるところがないと落ち込んでいたときに、たまたま学校の近くにあったラーメンの一番亭を運営しているにしはらグループさんが、相談にのってくれた。説明の段階からとても興味をもってくれ、快諾してくれた。

## ラーメン作り

最初は、学校の調理室を使ってラーメン作りをする予定だった。しかし、にしはらグループさんの担当の方が見学にこられたときに、火力の弱さ及び道具が足りない点について教えていただいた。そして、店舗での調理について提案していただいた。とても嬉しかった。愛鷹分校3年生全員で、ラーメンの一番亭岡宮店様でラーメン作りができることになった。



↑ ラーメンの企画書 1人1人でラーメン作りをした。思った以上に色々な味ができた

## カップラーメン作り

同時に進めたのが、カップラーメンを作ってくれる会社探しだった。伊豆の国にある製麺所が快諾してくれて、何度もやりとりを重ねた。トッピングの種類で、カップラーメン1つの値段が、数百円単位で変わってくるため、何度も何度もやりとりをして、みんなのこだわった具材が減らないように考えた。

## パッケージを沼津城北高校と共同制作

沼津城北高校の生徒会に協力を依頼し、カップラーメンのふたのデザインを一緒に作った。色々なデザインが集まり、どのようにふたに取り入れるのか悩んだ。

## 【ラーメン作り】

9月11日に、ラーメンの一番亭で、ラーメン作りを行った。



ラーメンは、「ベース」のだし、スープ、「ミドル」の香味の部分のかえしタレ、「旨味調味料」、「トッピング」の飾りつけのチームワークで味が決まる。作れるラーメンの数は、635,040通りもあり驚いた。



旨味調味料

かえしタレ (香味)



ラーメンの湯切り、トッピング、タレなど、いざ自分たちで作ってみると、好きなものをたくさん入れたのに味がいまいちだったり、醤油をえらんでも、想像していたような味にならなかったり、思い切ってナンプラーや白トリュフをいれてみたら、タレの味に混ざってわからなくなったりと、ラーメンづくりの難しさを感じた。そして、学年全員が、味について工夫したことを話し合ったり、美味しいトッピングをすすめあったりと、すごく盛り上がったことが一番よかった。



にしはら社長にも  
たくさん、試食をお願いしました



## 【カップラーメ試食会】

1月22日に、カップラーメンの試食会を行った。カップラーメンが完成し、手元に届いたときは、思わずみんなで「おー」と声を出すぐらい感動した。





にしはら社長と。本当にありがとうございます



## 5 感想

昨年の六月からスタートしたドリームプロジェクト

応募して実際に動きを始めるときとても分からずじまいで進まなかったことをすごく覚えてます。ですが、仲間と協力し頑張ったことによりいい結果が出たんじゃないかと考えます。

にしはら社長の協力で餃子の一番亭を午前貸切って行ったときはとても気持ちがワクワクしました。63万通りある中で一人一人個性の出たラーメンを観れたのもやってよかったと感じる物でした。

カップラーメンのパッケージづくりでは愛鷹分校だけでなく沼津城北高校の生徒会にも依頼し世界に一つだけのパッケージが作成できたと同時によい交流もできたんじゃないかと考えます。

そして1月に実施したカップラーメン贈呈式。ラーメンを配る前のプレゼンテーションでは上手くできなくてグダグダなプレゼンになってしまい難しいと感じました。

贈呈式では試食会を行い、食べた感想を頂き、愛鷹31ラーメンでは「塩ラーメンに抹茶を入れるのは本当においしいのか疑問でしたがとてもベストマッチしており美味しかった」と頂きました。また、さっぱり桜エビラーメンの方は「桜エビとスープの味がよく、麺も相性が良くてとても良かった」と頂きました。

そして2月に実施したドリームプロジェクト報告会

先ほどプレゼンがうまくできなかったと記載しましたが、この日のために仲間と協力してもらったり先生方に協力してもらいました。

当日に良いプレゼンができたのは自分だけの力ではなく、仲間や先生方が協力してくれたおかげだと私は感じます。

約半年のプロジェクトはこれからの人生で二度とないであろう体験が出来、よい思い出にもなりました。

私自身も「調理の勉強」＋「今までにない特大イベント」を実施できたのはこのプロジェクトのおかげだと思います。

大変なことだらけですごく困ったりもしましたがこれとは裏腹にとっても良い体験が出来感謝してもしきれないほどの喜びがあります。

本当にありがとうございました。